



2,007年  
新潟県中越沖地震被害調査報告

柏崎市

新潟県柏崎市内及び周辺被害状況

調査日 2,007年8月7日～8日

東京土建 仕事対策部 & 設計士の会

# 地震の概要

- 地震の状況

地震名：2,007年 新潟県中越沖地震

- 2,007年(平成19年)7月16日午前10時13分

- 震源地：新潟県上中越沖(北緯37度33分、東経138度37分  
出雲崎沖9.0Km附近

- 震源の深さ：17Km

- 規模：M6.8 震度6.0強：柏崎市、長岡市、刈羽。  
長野県 飯綱町

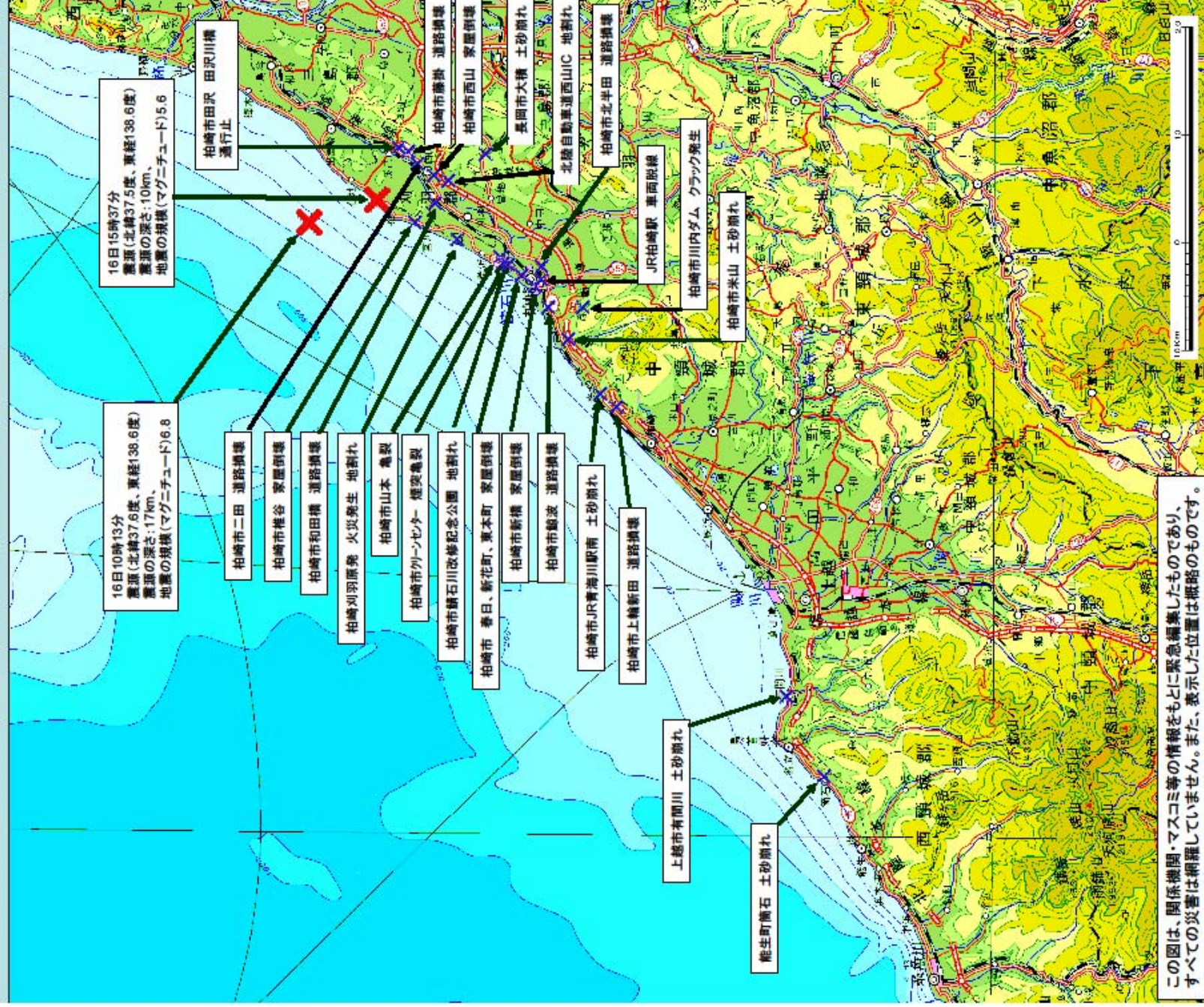
- 全壊住戸：1,069件、 半壊、一部損壊：22,113件

- 死者：11人、 負傷者：1,987人

# 平成19年(2007年)新潟県中越沖地震

災害概況図(速報5) 2007年7月17日10時現在

国土地理院



この図は、関係機関・マスコミ等の情報をもとに緊急編纂したものであり、すべての災害は網羅していません。また、表示した位置は概略のものです。

## 被害状況写真(主に木造建物及び他)



アーケードが揺れと同じ方向に曲がっている

東本町二丁目交差点 閻魔堂通り商店街入り口



1階RC造 2階鉄骨造(奥行きが20m以上ある長い建物)

閻魔堂通り商店街 マリオネット 1階崩壊 解体中



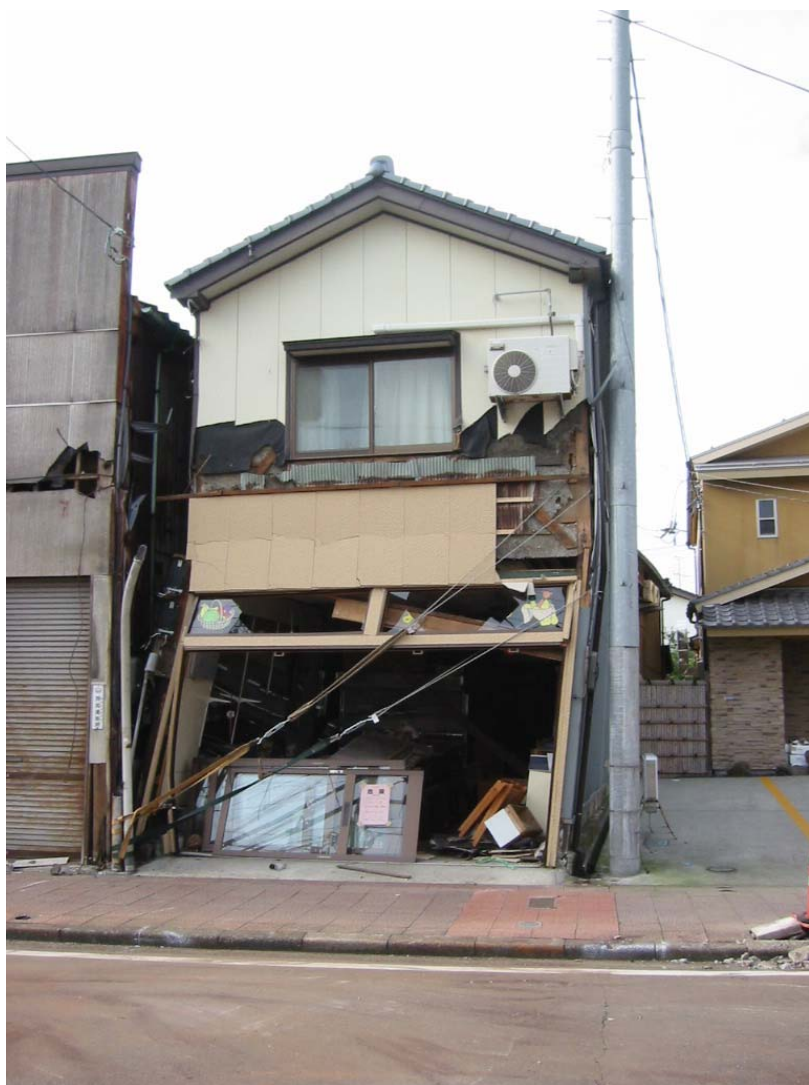
同マリオネット危険なため解体中 。1階RC造 2階鉄骨造(奥行きが20m以上ある長い建物)



マリオネット隣の呉服店 危険判定の貼紙



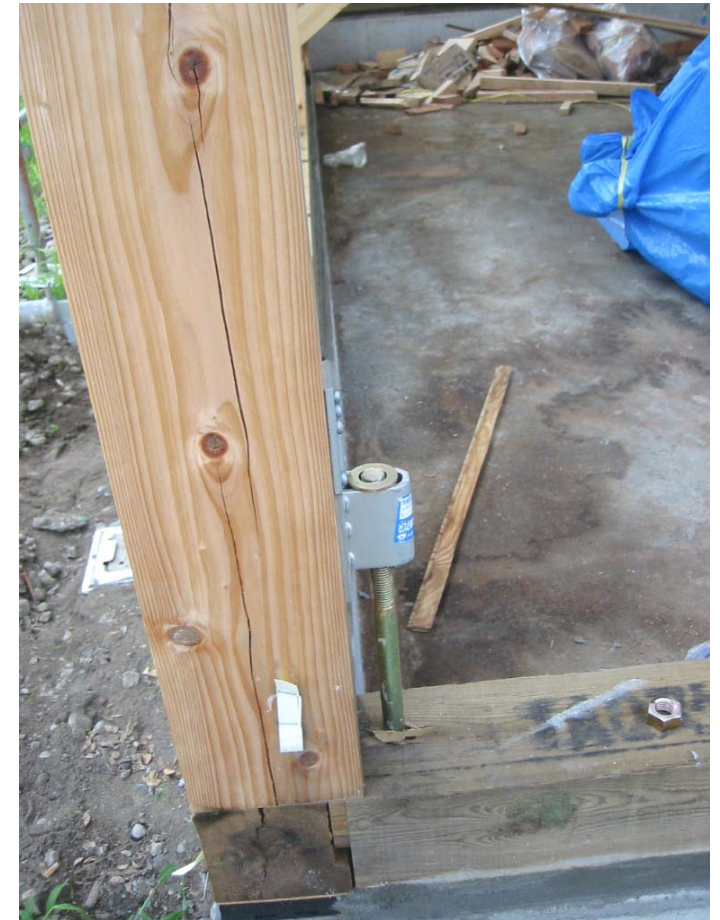
アーケード危険なため撤去中



同商店街店舗損壊  
1階部分の耐力壁無し。建物が  
電柱で支えられている。



同 通し柱が胴差し下端の位置で折れている。

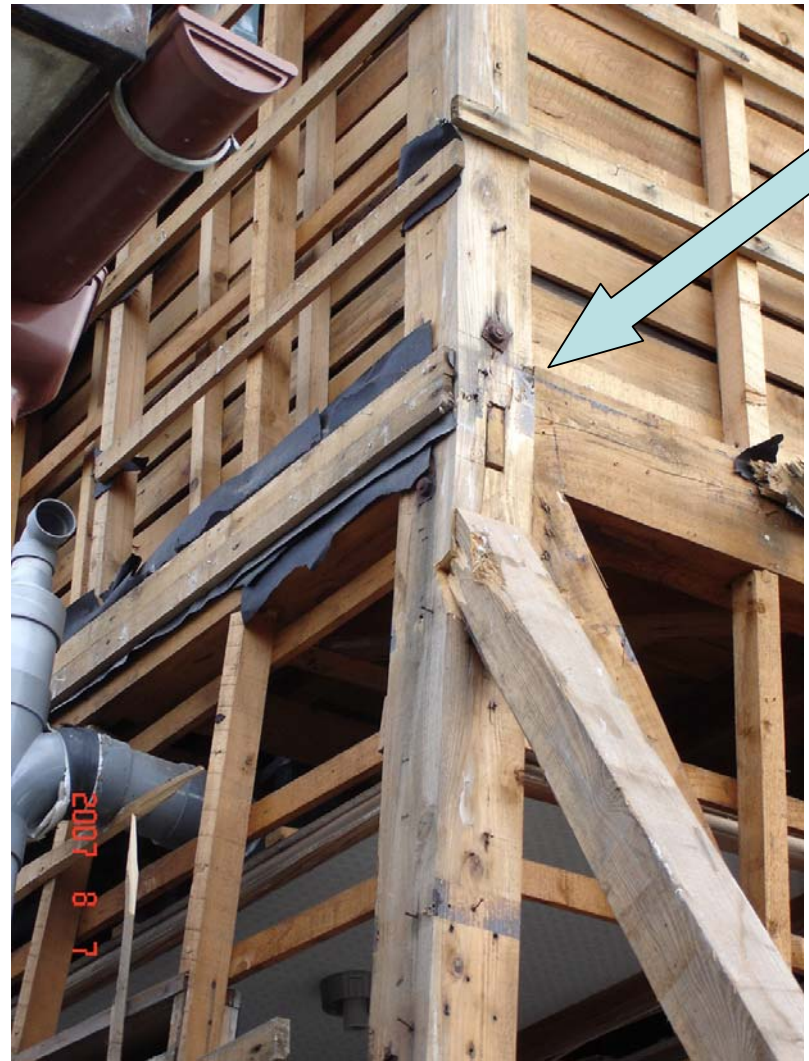


ホールダウン金物、アンカーボルトのナットがかからない。

建売住宅新築中。べた基礎が不同沈下により北側寄りに30下がる。土台と基礎の隙間にモルタル詰め。地盤は砂地、周りに液状化により砂噴出の跡あり。



道路側に倒壊寸前 つかえ棒で支えている  
基礎 無筋コンクリート



通し柱損壊



左側の角の家



右側の角の家

1階崩壊 2階はそのまま落下(写真は両方とも交差点角を挟んだ家)



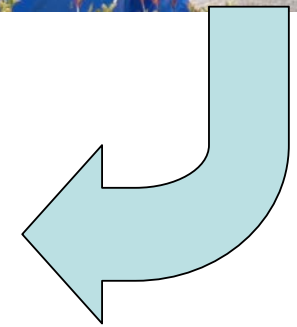
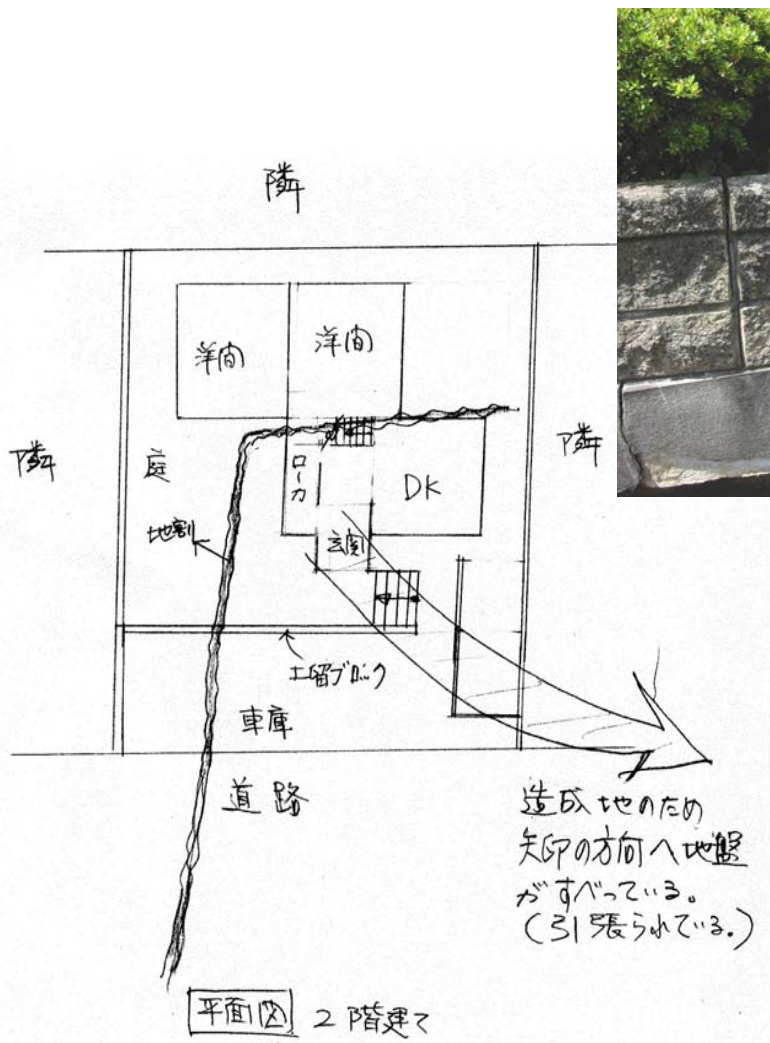
## 栄町附近住宅

1階崩壊、2階はそのまま落下

築70年以上建っている古い建物だが柱、梁仕口部分に不朽が見られる。一見新築に見えるが上部右写真のように、断熱材に2003年3月と表示されているのを見ると4年前の中越地震の後、全面的に増改築されたみたい。果たして工事のときに耐震補強工事がされていたかどうか疑問視される。



# ● 柏崎市穂波町 民商相談者(造成団地のため地すべり地盤破壊)



土留ブロックが地割れにより引き裂かれている

略平面図



庭地割れ 100~180(この地割れが家の中を走っていく)



庭から地割れが家の中へ



廊下と部屋が地割れにより引き離されている



全面道路 砂地のため液状化により陥没



道路を挟んだ前の家 車庫土間亀裂



団地下の擁壁亀裂 離れ

## ● 柏崎市土合 民商相談者(床屋さん)



裏側から

4年前の中越地震で同じ敷地に住んでいた家が全面倒壊、後に写真のような理髪店を営むため新築したが今回のような被害にあった。

お店入り口ポーチ 60~100下がり



基礎 亀裂廻りは、砂地盤

●市営ごみ焼却場(クリーンセンターかしわざき)煙突倒壊寸前



全景(地震直後の報道写真から)  
煙突(高さ59m) 写真のように折れ  
曲がっている。



(日経アーキテクチャから転載)

## ●クリーンセンター周辺道路破壊



手前の道路が元の道路面。先の道路面が陥没した。  
高さ3.0m、長さ50mにわたって地盤が砂地のため崩壊



砂取場の路面補強鉄板が垂れ下がっている。